



かえでゆうびん 8月号

平成30年8月1日

社会福祉法人 清松学園

かえで保育園

園長 引地 美津代

7月は驚くほどの暑さに、元気に水遊びを満喫する！ではなく毎日どのように暑さ対策をし体調管理をして過ごしていくか注意を払いながら過ごしてきました。35度以上の気温になると空気が薄く感じるほど過ごしにくい日々でした。また、先日の台風も日本列島を逆走したり、異常高温も温暖化からくるもので、自然界の営みが狂ってきています。この予想できない自然の力を少しでも穏やかに四季を感じて過ごしていくには、もう一度様々なことを見直し、自然に優しい世界を意識して進めていかないといけない時が来ていると感じてなりません。私の幼少期には暑い夏も夕方近くになると大きな入道雲が出た後、やさしい夕立が起こり、さ〜っと気温が下がるとともに空には綺麗な虹がかかり、夕日と雨のしずくと虹に「きれいだな〜」と空を見上げていた記憶があります。虹を見る度、「今日は何色が濃かった。」「今日は長い虹だった」と自然の不思議を楽しめた時がありました。そんなゆったりと季節を感じられた時代に戻ってほしいと思います。

かえで保育園の園庭には今年も暑さに負けず、マスカットがたわわに実ってきました。子どもたちが細々と育てたゴーヤ、オクラ、トマト、なすびも少しですがクッキングにも使え、今はコシヒカリや、すいかが育ってくれることを待ちわびています。

今年は水不足には悩まされませんが、限りある資源を大切にしながら、紫外線から上手に身を守りながら「暑い、熱〜い夏」を乗り切っていきます。ご家庭でも上手に水分補給・体を休める・しっかり食べるで過ごしてください。



さて、7月21日の土曜日にはダンディ・タイムのおかげで素敵なテーブルとイスが完成しました。また、皆で楽しんだそうめん流しの準備も手際よく・かつ、丁寧に進めていただき、ありがとうございました。

子どもたちの楽しい遊びがダンディタイムやかえでカフェの方々に支えられながら進めていけることに感謝いたします。まだ、一度もご参加いただけていない方々、また違った保育園の見方や感じ方ができますのでお時間を空けていただければと思います。

お父さん・おじいちゃんが作ってくださったことや行事にお母さんがいたことなどが全員の子もたちがうれしく、「〜ちゃんのお母さんに手伝ってもらった」「〜ちゃんのお父さん上手だった」など印象に残っているようです。是非、お時間を作っていただき卒園までに一度はご参加ください。

9月のダンディタイムでは、園庭整備・イスの追加作成を行った後、ピザ窯でピザパーティーをしたいと計画しています。どうぞよろしくお願いいたします。

8月は暑い夏を越えながら、各学年も2学期を迎える準備をしています。

保護者の方々もお子様の履いている園庭用の靴を確認したり、ロッカーの整理をしたり、制作したものを片づけたりし、9月に備えてください。ご協力お願いします。

にこにこメッセージ

7月は西日本全体が豪雨に見舞われ、特別警報が兵庫県に、西宮市内は警報発令の日が続きました。園周辺では雨による被害などはありませんでしたが、保護者の方々は園の送迎、仕事や職場周辺のこと、学校が休みになった兄弟たちをどうするかなど、心配事が多くあったことと思います。

その後は猛暑が続き、暑さのためか園庭のセミも少なく、セミ取りを楽しみにしていた子どもも外での虫探しの時間も短くせざるを得ませんでした。また、毎日安全に過ごすためにどのようなことをすべきかの情報収集をしたり、園内で考えたりすることに追われた日々でした。子どもたちには大人からの発信だけではなくどのように過ごすことが、熱中症などを防ぐことができるのかを考えてみる機会も作りました。私も含め大人も経験したり、見たこともないような出来事が次々と起こるということは、これから育つ子どもにも様々なことが起こります。スマホ片手に便利な情報はすぐに入りますが、身を守っていくことの大切さを丁寧に伝え、成長と共に体感してほしいと願います。

でも子供たちの大好きな夏！。暑いですが、「夏」と感じることをご家族で体験してみてください

主任保育士 藤森 寿美

せんせいからのおはなしコーナー

先日、大学時代の友人が作品を出している手作り市場に行きました。会場に着くと絵画作品から鞆やネックレスや帽子と様々な物が色とりどりに飾られていました。広い会場を歩きながら感じたことが、ただ置いているだけでなくその作品に合う背景や配置の仕方、色合いや飾り方がその人らしさで溢れているように感じました。

保育園での子どもたちの作品も、作品をつくるまで経緯や作っている時の様子を感じることができるような飾りつけをしていきたいなと感じました。ほんとに些細なことでもその子にとってはとても大きな気付きになっているのだなと子ども達を見ていて感じます。普段の生活の中で経験したことから自分らしさに気づけることの大切さ、大好きなことを続けることの大切さや続けた先にある楽しさ追求や探求心を子どもたちと見つけていきたいと思います。そして大きくなってもその気持ちを持ち続けて欲しいと思います。

日笠 加菜

ねらい：「いろいろな物を触れている」

う た：「こぶたぬきつねこ、キラキラ星、ボウズ」

最近は異常な暑さですので、めばえは室内で過ごしていますが、幼児さん達が外で遊んでいるを窓の方に行きじーっと眺めたり、テラスに出ると幼児さんが声を掛けてくれるとにこにこ顔で近くまで行きタッチをしたりして嬉しそうに触れ合っています。

プールも始まりました。一人ずつの小さなプールからふたばさんと一緒に少し大きなプールへ。水に触れたり、ばしゃばしゃして楽しめます。

～どれにしようかな～



子どもたちの前にいろいろなカラーボールを並べて一番最初に手に持った色で紙粘土に色を塗り手形をしました。始めは少し遠くにあるボールをじーっと眺める子どももいれば、保育者に名前呼ばれると、ボールの所まで自分で走って行き、「これがいい」というように保育者の所まで行き、「はい」とボールを見せてくれました。

ボールをじーっと眺めていた子どもは「ん」と言って指をさし「あれとって」と言うようにボールの方を指さしていました。

最初はプラスチックの小さいボールを見て触ったり、左右に振って遊ぶだけでしたが、今では園庭にある大きいサッカーボールなどを両手に持って歩いたり、足元のボールを足でキックしたり、転がしたりして楽しんでいます。

～これはなにかな～



お部屋に保育士が作った新しい玩具を見せると、「これは何かな」と興味深々。近づいてはスイッチを触り、ポチッと音がすると「あ」といいながら何度も押して遊んでいます。ラップの芯に布を巻いた玩具を見て「ここを引っ張るんだよ」と言いながら、布の端を引っ張って見せると、すぐに挑戦！布に手を触れてゆっくり引っ張ってみると少し布が取れるのがわかったと何回繰り返していました。布を引っ張るスピードが速くなり、くるくるという音に楽しさを覚え、布を全部

取り終えたあと、保育者が巻きなおすとまたすぐに布を引っ張り遊んで、一つの玩具の楽しさが分かったと、じっくり遊べるようになってきました。

“担任の思い”

気になるものがあると、ハイハイや歩いたりして自分で行動ができるようになり、日々成長しているめばえさんを見るととても嬉しくなります。お友達のところに近づいていき、玩具を持ちお互い顔を見合わせ嬉しそうにして顔を引っ付けている姿を見てお友達にも興味を示し始めているのかなと思います。保育者、お友達と一緒に過ごす毎日の中でたくさんの物に触れて遊んで大きくなってほしいです。

8月は暑さがますます厳しくなります。外に出ることは少なくなりますが、園内を散歩したり、身体を動かして遊んでいきたいと思います。

ねらい：「水遊びを楽しもう」

う た：「しゃぼん玉・きらきら星」 手遊び：「むすんでひらいて」

わらべうた：「いちめど・オッタコ・つつきましょう」

気温の高い日が続いていますが、外あそびは少し時間を決めて出ています。園庭であそぶ事が大好きな子ども達は、保育者の「お外にいこうね」の言葉に反応し、嬉しそうに帽子をかぶり一目散。水遊びや砂場あそびも工夫して遊べるようになりました。つぼみや幼児クラスがしているしゃぼん玉や泡あそびを、同じようにやってみたりする姿が見られます。これからも異年齢と関わりながら模倣遊びを大切に自分の好きな遊びを見つけていきたいと思います。



「メダカさん」いらっしやい

6月にメダカがふたばぐみの部屋にきました。始めは、「いっぱいいる」と言ったりしながら、興味を示しじっと見ていました。次の日から、保育者が餌をあげ下からのぞくふたばぐみの子ども達は、餌によってくるメダカを見て指さし、保育者が「食べてるよ。ここだよ。」と指さすと「食べてるね。ここ！ここ！」と言いながら見ていました。



しばらくして、水槽が汚れてきたので、保育者が掃除をテラスで始めると、掃除をしている姿を見ている子、メダカを別の容器に移し泳ぐ姿を見る子と、それぞれ「みせて」と言い興味をもっていました。綺麗になったメダカのお家にメダカを帰してあげると、「綺麗になったね。メダカさん気持ちよさそうだね」と言いながら見ていました。1匹お腹が大きい？メダカを見つけ「福井先生と一緒にだね。」と言いながら約1ヶ月のメダカ観察でした。これから赤ちゃんが産まれるかもしれないことや、他のメダカも大きくなっていく姿をみんなで見ていきたいと思います。



「ててちゃん・すみれちゃん」いらっしやい

人形の赤ちゃん2人が、仲間いりしました。ふたば組にはいない大きさと目が開いたり閉じたりする赤ちゃんで、始めは「え！動く」とびっくりする子どももいましたが、日に日に慣れて抱っこしたり寝かせたりしていました。寝る場所も決め子ども達も覚えてくれましたが、名前を決めないとね・・・、保護者の方にも募集してみました。色々頂きその中から、子ども達の言いやすい名前はどれがいいかなと悩みましたが、素敵なお名前の「ててちゃん・すみれちゃん」になりました。「ててちゃん抱っこしてくれているの。いってらっしやい」と子どもに伝えながら散歩に行ったり、ご飯を食べさせてくれたり、赤ちゃんのお世話をしてくれる日が多くなりました。



最近、模倣遊びをする子どもも増えてきているので、保育者と一緒に遊びながら過ごしていきたいと思います。

“担任の思い”

水に触れる機会が多くなる季節です。沢山遊んだ後は十分に水分補給をし、部屋でゆったり過ごす時間も多くなりながら、夏を過ごしていこうと思います。室内と戸外の温度差や暑さで体調の崩しやすい季節でもありますので、お子様の体調の変化に気を付けて下さい。ふたば組の部屋には室内のメダカ、カメ、園にいるだんご虫やカエルなどにも関心をもち見たり触ったりする姿が見られるようになりました。これからどんどん様々な不思議に対し関心を持つようになります。保育者と一緒に共感しながら過ごしていきます。

西口智子・高田菜沙・柴原ちはる

～つぼみぐみ～

ねらい：「プールや泥遊びなど、夏ならではの遊びを楽しむ」

う た：「うみ・いぬのおまわりさん・おおなみなみ」

7月に入り暑い日が続いていますが、戸外遊びが大好きなつぼみ組の子どもたちは元気よく遊んでいます。好きな遊びを見つけて「一緒に遊ぼう」と友達を誘う姿も見られます。園庭では泡・水・泥など様々な感触遊びをしたり、石ころや植物を取り入れて友達との会話を楽しみながら砂遊びやごっこ遊びをしています。またカエルや亀、幼児さんが捕まえたせみやカマキリなど生き物に興味をもっています。幼児さんと一緒にダンゴムシやカマキリなど虫探しをして楽しんでいます。



～ひかりさん～

7月6日のたなばた祭りでは、初めてひかり組のお兄さんお姉さんとペアになりお店や盆踊りを自分たちだけで回りました。最初はペアのお兄さん、お姉さんを目の前にすると嬉しさだったり、少し恥ずかしそうにしている子もいました。手を繋いで「何したい？」と優しく問



いかけてくれるひかりさん。お店を周り終えると「〇〇ちゃんと一緒にしたの！」「楽しかった！」と目をキラキラさせて嬉しそうに教えてくれるつぼみさん。異年齢との関わりも増え、めばえさんに優しく接する姿にほっこりしたり、幼児クラスの子と楽しそうに遊んでいる姿を見ると保育者も嬉しくなります。これからひかりさんとのペア



での活動も多くなるので楽しみです。ひかりさんよろしくね。

～おおきくなったね～

オクラがなんと！8本も取れました！「いっぱい取れたねすごい」と大興奮。匂いをかいだり大きさを比べたりしました。クッキングではぐつぐつゆでて柔らかくなったオクラをばくっ。「おいしい」ともぐもぐ食べました。オクラ納豆もみんなでまぜまぜ。「おいしくなあれ」と言いながらみんなで



順番に混ぜました。その後の給食でも「おくらおいしい」といつもよりたくさんご飯を食べました。それから園庭にあるオクラを見ては「これは大きくなったらまた食べれる？」と成長を楽しみにしています。

～プール～

今月からプールが始まり、毎日のように「プールある？」と保育者に聞くこともあって子どもたちは毎回楽しみにしています。水着を着るのも楽しみで保育者に助けをもらいながら着替えを頑張っています。プールでは足をバタバタさせたりわに歩きをしたりなど水の感触を楽しんでいます。苦手な子も保育者と一緒に少しずつ水に慣れるよう遊びを工夫していきたいです。



“担任の思い”

したい遊びを見つけて友達と遊ぶことで会話も多くなってきました。言い合いになることもありますが、自分の気持ちを言葉にしようとしているため、仲立ちしながら友達との関わりを見守っていききたいです。また異年齢との関わりも増え、幼児クラスがしていることに興味を持っています、出来ることは幼児と一緒に取り入れていきたいと思います。暑い毎日が続いているため十分な休息と水分補給を設け、それぞれの体調に気をつけて配慮していきたいです。

林 千紗・星加 由美子・山本 あかね

～いぶきぐみ～

ねらい：「夏のあそびを楽しむ」「不思議におもったり考えたりしながらあそぶ」

う た：「うみ」「かめのえんそく3番」

毎日暑い日が続くなか、子どもたちは汗をかきながらも一生懸命遊んでいます。とくに最近ではお兄さん、お姉さんの遊ぶ姿をよく見ていて真似をしながら遊んでいます。朝顔をすり鉢ですって色水を作ったり、土山をスコップで掘って水路を作ったり、じゃぶじゃぶ池では、全身びちょびちょになりながらも水あそびを楽しんでいます。去年と比べると全身で思い切り遊ぶ姿がとて増えたように感じます。夏ならではの遊びも思い切り楽しんでいきたいです。



“どこからやってきたのかな？”

暑い夏がやってきても、甲羅を背負ってはカメになりきって遊んだり、プールのなかでもカメ泳ぎをして楽しんで、いぶきぐみ。

ある日、かえて保育園に1匹のカメがやってきました。保育園の前を歩いていたカメを一人のお友だちが連れてきてくれたのです。

「いったいどこからやってきたのかな？」「迷子？」

「浜脇小学校から逃げてきたのかな？」「雨がいっぱい降ったからさ、夙川から逃げてきたんじゃない？」など、あぁでもない、こうでもない、話し合っていました。

結局どこからやってきたかは分からずでしたが、子どもたちは「でもさ、迷子だったらお母さんカメとお父さんカメはきっと心配してるよね。」

「このカメさんもきっと寂しいよね。」という話になり、お家が見つかるまでの間、みんなでお世話をすることになりました。

それからは図鑑でどんなものを食べるのか、どんなお家がいいのか、お友達と相談して図鑑で調べる姿も見られました。

また、カメさんが寂しい気持ちになっているかもしれないと元気づけるために、甲羅を背負ってそばにいき、「カメのえんそく」を歌

ってあげたり、カメさんの似顔絵を描いてあげたり、暑い日にはうちわを持ってきて涼しくなるようにと仰いであげる姿も見られました。

園庭にでるといつも駆け寄っていき様子をうかがったり、一緒に園庭のなかを散歩したり、もうすっかり仲良しのようです。

この素敵な出会いがこれからどうなっていくのか、楽しみです。



“担任の思い”

カメへの興味が長く続いていた為、飼おうかどうかと相談していた時に突然やってきたので、子どもたちも職員も本当に驚きました。いったいどこからやってきたのか、これからどうしていこうか、子どもたちと真剣に話し合いました。子どもたちなりに感じたことや思うこともあり、会話に耳を澄ませると、カメの気持ちに寄りそっていることに嬉しく思いました。カメが園にやってきてくれたことで、またいぶき組とカメのストーリーが楽しみになりました。この出会いを大切に、感じることを、体験することをそばで見守っていきたいです。

林 奈津美

～ひかりぐみ～

ねらい：「夏の遊びを友だちと一緒に楽しむ」「不思議を見つける」

うた：「ホ！ホ！ホ！」「うみ」

毎朝子ども達と会う時は「先生おはよう、暑いね～」と汗をかきながらも笑顔で挨拶をしてくれます。園庭ではだいちさんがセミを捕まえる様子を見て少し怖がりながらもものぞきこんだり、さわってみようとしたりしています。また、いぶきさんと一緒に泡遊びからしゃぼん玉を楽しんでいます。最近は朝顔や葉っぱを手で揉んだり、すり鉢で擦りながらながら色水を作ることが増えました。始めは植物から色が出てくる様子を楽しんでいましたが、繰り返し遊び中で「あれ？さっきは紫やったのに、ピンクになってるよ」と色の变化に気付いて色の濃い順番に並べてみたり、水を何回入れたら薄くなるか同じ遊びでも1つの気づきから遊びが広がりつつあります。

【はじめてのペア】

楽しみにしていた七夕まつりはつぼみ組とペアになってお店を回りました。前日にペアの発表をすると「〇〇ちゃんと一緒にだ！」「外でもしゃぼん玉することあるよ」と普段から遊ぶことが多いペアの子もいれば「〇〇くん…どんな子だったっけ？」とつぼみ組の部屋まで顔を見に行く子もいました。ペア同士で会うと「明日一緒にお店行こうね」「ひかりさんのお兄さんだよ。よろしくね」と自己紹介をする子もいました。七夕まつり当日はヨーヨー釣りに宝釣りや貝殻アートと始めにどこから行きたいかお互いに話していました。「先にヨーヨー行きたいけど…」と自分の気持ちを少し抑えながら「じゃあ次に行ってもいい？」としゃがんで視線を合わせながら話す姿に嬉しそうに手を繋いでお店に向かっていました。お祭りに夢中になって「あれ？〇〇ちゃん！」と周りを探して見つけるとホッとした様子で「次どこいく？」と声を掛ける姿は少しお兄さん、お姉さんの顔をしていました。



【色砂づくり】

以前に御前浜に行ったときに集めた砂に色をつけて色砂を作りました。砂をふるいにかけてきたさら砂を触ると「ふわふわしてるね」「なんだか冷たい」とそれぞれが感じたことを話をしながら色水に砂を入れてしばらく置きました。どんな風に色が付くか楽しみにしながら色砂の様子をみんなで見ると「赤色入れたのにちょっと違う色になってる」と2つを比べてまた違った色を楽しんでいました。ここからまた1つどんな遊びに繋がるか楽しみが増えました。



“担任の思い”

今回の七夕まつりから年下の子への話し方や接し方を実際に考えるよいきっかけになったように思います。ある子のつぶやきから始まった色砂づくりでは「次は何色がいいかな」「オレンジとか紫ってどうやってつくる」と話し合いが始まっています。「知ってる！次はね…」と方法を教えながら自分が経験して発見したこと、わくわくしたことをお友だちと共感すること増えてきたようです。楽しみにしていたプール遊びも始まり、夏ならではの遊びもたくさん経験していきたいです。

～だいちぐみ～

ねらい：「夏を健康に過ごす方法を知り、生活に取り入れる」「ロッカーを整理し、心地よさを感じる」

う た：「うみ」

7月前半はまだ過ごしやすい気候が続いていたので、園庭でも体を動かしてあそぶ姿が多く見られました。特に、ワールドカップで盛り上がっていたこともあり、新聞の切り抜きを飾ってみたり、日本の選手だけでなく世界の国や国旗に興味を持ったり、実際に園庭ではサッカーの試合が行われていました。「今日はブラジル対ロシアな！」と勝っても負けても楽しそうないちさんでした。

また、「やまものの木に水をあげよう」というところから、水路づくりに広がりました。ポンプからやまものの木の根まで、どのようにすれば水が流れるのか考え、工夫する姿が見られました。

7月後半は、プールあそびも始まり心地良さと水に触れあそぶ楽しさを感じているいちさんですが、暑さが日に日に増していく中で日陰に入ったりベンチに座り水分補給をしたりと、自らも体を休めながらあそんでいました。

生活面では、ロッカーの整理整頓を面倒に感じている様子も見受けられます。身の回りの物を大切に思うこと、壊れてしまえば新しいものを用意するのではなく、修理し使うことで物を大切に使う習慣に繋がればと思います。



“雨が降らないおまじない”

7月の豪雨により、大きな被害を受けられた地域の方が沢山いらっしゃいました。新聞やニュースでも連日報道されていましたが、つい最近大きな地震を体験した子どもたちだからこそ、どこかで困っている人がいることを知り、誰かを思いやる気持ちが持てるのではと思いました。また、実際に自分が災害に遭遇した時に、何か役に立つこともあればと思い、だいちさんに話をしてみることにしました。

県名を伝えるだけでなく、地図を見ながら自分たちの住んでいる場所から近い場所でも大変なことが起きていることを伝えます。一つひとつの言葉を真剣な眼差しで聞いていました。「もし、これ以上沢山の雨が降ったら、ここに住んでいる人たちはもっと大変な思いをするかもしれない」と話すと、口を開けて驚く子や、眉間にしわを寄せている子もいました。その時、Bくんが「てるてるぼうず…」と呟いたのです。「Bくん、てるてるぼうず？」「だってさ、てるてるぼうず作ったら雨が降らないんちゃう？」と言。Bくんの提案にだいちさんも「いいね、それ！」「てるてるぼうず作りたい！」とてるてるぼうず作りが始まりました。“空からよく見えるように”と、やまものの木にぶら下げることにしました。

“自分でどうにかしようとする力”

絵画あそびでの出来事です。絵画あそびに来てくださっている太田先生と毎回振り返りを行い、子どもたちの姿から次回の内容を考えたり関わり方を工夫しています。

そんな中でここ最近のだいちさんの姿から感じていたことがあります。相手の話をなんとなく聞いていて、いざ活動に取り掛かろうとすると「分からない」「どうやってやるの」とすぐに答えを求めに大人の元へやってきて尋ねます。分からないことを言葉で伝えられるのは良いことですが、相手の話を聞き“理解しようとする”ことも大切ではないかと感じていました。

この日は手足の動く人形を、厚紙で制作していました。「初めに説明をするから、よく聞いていてね。その後は自分でやってみるんだよ」と声を掛け、太田先生におもちゃの動く仕組みを実際に作りながら伝えてもらいました。

手足の動く人形に、子どもたちの目は輝きます。「すごい」「作ってみたい」それぞれがイメージした形でさっそく取り組んでみることにしました。



自信がなくどのような形を作ればよいのかと悩んでいる子は、見本の形を象るところから始めていました。

また、なんとなくは理解できているけれど太田先生の隣に座り、手伝ってくれるのを待っている子、自分の力でどうにかしようと黙々と製作をし、壁に直面したところで助けを求めに来る子と、様々でした。

Aちゃんは“完成させたい”という気持ちはあるものの、上手いかわず一つひとつの工程ごとに泣き出しそうな声を出していました。きりで厚紙に穴をあける場面では、「もう、出来ない！どうやってするん！」と足をばたつかせます。しかしすぐに大人が助けてしまえば、Aちゃんの中で“やれば出来るんだ”という経験を奪ってしまうこと

になります。傍でコツを伝えながら、見守りました。

やっとのことで穴を開けられた後、風系をはさみで切る工程では、「もう、切れへん〜！」とこれまた一度はさみを入れたところで諦めてしまいそうな様子でした。

隣で作っていた子が「なんで、切れるやん。」と簡単そうに風系を切っていきます。こればかりは感覚的なものもあるので、経験の中で掴んでいくほかありません。Aちゃんはそのまま昼食の時間になり、また別の時間に続きを行うことにしました。昼食後も数人の友だちと一緒に行いましたが、再び諦めムードが漂っていました。

まだ完成はしていませんが、一つずつ自分の力で乗り越え完成した時には、大きな喜びが待っているのではないかと思います。その瞬間のAちゃんの笑顔を楽しみにしています。

“担任の思い”

初めて挑戦すること、少し難しいことに対して、自分の中で“出来ない”と限界を決めてしまうことは、この先色々な壁に直面していくであろう子どもたちにとって、乗り越えていくべき心の葛藤だと思います。そのためには、保育者も一緒になり辛抱強く寄り添っていくことが、子どもたちのこれからに繋がっていくと信じています。それは決して“見放す”ことでも“放っておく”ことでもなく、心の中で子どもの成長を願うからこそ、大人も我慢しなければならない瞬間があると考えています。大人が手助けをしてしまえば簡単ですし、時間もかからず子どもも良い気持ちで過ごせます。しかし、その瞬間だけでなく、この先もずっと自分の力で生き抜いていく子どもたちのことを考えた時に、今の関わりがきっと大きな力に繋がっていくと思うのです。もちろん子ども一人ひとりによって、それぞれ乗り越えられる力も成長の形も違います。だからこそ、その子に必要な関わりを考え、一歩離れて見守ることや声を掛けたいタイミングであってもぐっとこらえることが必要な場面に遭遇します。もちろん、反対に関わるが必要な時や、ここぞといったタイミングを見極めて手を差し出すこともあります。日々の子どもの姿から学ばせてもらっている毎日です。心も体も成長していく子どもたちに置いていかれることのないよう、私自身も保育者として成長していきたいと思っています。

河本 彩奈

めばえ・ふたば・つぼみからのお知らせ

- ・プールあそびが始まっています。予定表を各クラスの前に貼っていますので、ご確認ください。
- ・プールの準備物には全て名前を記入して下さい。
- ・健康調査票を忘れず記入して下さい。
- ・乳児の場合、長い髪は暑さであせもやあたまじらみが発生しやすくなりますので、できるだけ短くして下さい。

いぶき・ひかり・だいちからの お知らせ

- ・一日の活動は9:30から始まります。通院などの場合を除き、9時30分までに登園を完了してください。また、その後は保護者の方々は速やかにお出かけください。長い時間の滞在はお子様が不安になりますのでご協力ください。
- ・歯ブラシは一ヶ月に一度交換しています。衛生管理上、使い終わった歯ブラシはお持ち帰りください。
- ・お子様が自分の物の管理ができるように習慣付けています。帰る用意は子ども自身で行えるように見守って下さい。またその日の伝達をいたしますので、必ず、幼児の部屋まで迎えにき、職員にお声がけください。

保護者の方からのおはなしコーナー

朝、先生に娘を渡す時、今までは私と離れたくない～！！という感じに大泣きしてぎゅっと私を掴んでいましたが、今ではすんなり。私を押しわけ（笑）
先生に手を伸ばします。悲しいような、でもそれだけ保育園で大切にしてもらっているんだなと先生方に感謝です。
最近はお迎えの時、私を見ると嬉しくて？泣いてズリバイして近づいてきてくれます。どんどん違う反応を見せてくれるので本当に毎日楽しみです。

めばえ組 ゆうこさん

我が家では、ベランダでネギを育てています。このネギは娘が担当という想いが強いようで、毎朝水やりをかせない娘。

キッチンでお味噌汁を作っているとき、そうめんを湯がいているとき、私が「ネギがほしいな～」とつぶやくと、待ってました！とばかりに収穫をして、輪切り（という名の乱切り）までしてくれます。小さいのに、大きな存在を発揮してくれるネギ、、、いや、娘に感謝です！

ひかり組 のぞみさん

いぶき組になった息子。
一人遊びが増え、レゴやお絵かきを自分で出して遊んでいます。
その時必ず聞こえてくるのが鼻唄（大声）。
「何の曲？」と聞くと、照れて自分の部屋に逃げる時もあれば「なつみ先生に教えてもらった〇〇のうた！」と答えてくれる時もあり、毎日イントロクイズのようですごく楽しいです！！

いぶき組 みづきさん

おばあちゃんが教えてくれた話です。
広東語でおばあちゃんの事を「ぽー」と言います。
息子はお友だちの子が「おばあちゃんきた～」と言う時は「おばあちゃん」といいますが、おばあちゃんの元に来たら「ぽー」と呼びます。
子どもがちゃんと言葉の使い分けを理解している事をとても興味深く思います。それも先生の方々やお友達の皆さんのおかげです。
いつもありがとうございます。

ふたば組 みょうこんさん

休みの日、朝のんびりしていると「今日、センセイ行く？」（保育園行く？）と聞いてきます。「今日はお休みだよ」と返事をする「え～」とがっかりする娘。
それ位保育園を楽しんでいるんだなあ～とうれしく思いました。
これからいろんな経験をして色々な事に興味をもってほしいと思います。

つばみ組 ゆきさん

お迎えに行くと汗びっしょりで充実した顔の我が子が園庭にいます。
夢中で走り回っている姿をずっと見ていたなあ。きっと輝いていてステキなんだろうなあ。

だいち組 まさこさん

～お台所から～

本格的に暑い日が毎日続いていますね。真っ白な入道雲が沸き立つ夏空と、セミの鳴き声を聞きながら、夏を感じている毎日です。夏は美味しい食材が沢山あります。旬の食材を食べて、暑さに負けず、元気に過ごせるように献立の内容も考えています。又、8月も特に衛生管理・食中毒に気を付けて、子どもたちと旬の食材に多く触れていきたいと考えています。

7月の食育活動の様子

- いぶき組とひかり組がおやつのとうもろこしの皮むきをしてくれました。いぶき組は40本近くあったとうもろこしを目の前に「うわあすごい」と声が上がっていました。おやつ時に話を聞くと「いっぱい皮剥いたよ」「おひげがいっぱいあってん」など話してくれました。ひかり組は皮をむいていると「とうもろこし見えてきた」「めっちゃ美味しそう」と話していたり「先生見て、めっちゃきれいに剥けた」と言って調理室に持って来て見せてくれる子もいました。全クラス分だったので量もたくさんあったのですが、どちらのクラスもあっという間に仕上げてくれました。
- おやつに旬の夏野菜（なす、ズッキーニ、コーン、トマト）を使ったピザを作りました。ピザ生地は粉から練って作り、具のトッピングと生地にケチャップを塗るのをだいち組の子どもたちにしてもらいました。3グループに分かれて作っていると「ちゃんと端までケチャップ塗らないと味ないよ」「きれいにトッピングしないと美味しそうじゃないで」「チーズもっと乗せた方がいいよ」など話をしていたり、3グループそれぞれの特徴があるピザに仕上がり、おやつを食べました。
- とうがんのそぼろあんかけに使うとうがんを子どもたちに見てもらいました。ずっしりと大きいとうがんを見ると「これなに？大きいメロン？」「めっちゃ大きいかぼちゃ？」など話していました。さわってみたり持ってみたりすると「皮がつるつるしてる」「めっちゃ重たい」などを感じたことをいろいろ話してくれました。

オクラ	トマト	きゅうり	かぼちゃ
くうしんさい	ゴーヤ	ピーマン	なす
えだまめ	とうがん	すいか	デラウェア

8月に予定している食育活動

- ごへいもち作り・・・だいち組
- ゴーヤの種取り・・・いぶき組
- とうもろこしの皮むき・・・ひかり組
- ピーマンの種取り・・・つぼみ組



とうもろこしの皮むき



夏野菜ピザのトッピング



とうがんを触ってみました



実習生が入ります

・8月1日～13日 関西学院大学 2名
・8月20日～9月1日 常盤大学 3名
・8月22日～9月8日 甲子園短大 1名
8月は職員が順番に休暇をいただきます。
担任以外でも何かありましたらお知らせください。

こんなことしたよ♪

7月6日は子どもたちだけの七夕まつりを行いました。
つぼみから幼児は、ご家庭で用意していただいた浴衣や甚平を着てご機嫌。
お店ではいぶきとだいち、つぼみとひかりのペアに分かれてヨーヨー釣りや貝殻アート、宝釣りをし、いつもとはちがった雰囲気保育園を味わいました。めばえとふたばさんも先生と一緒に楽しめました。松秀幼稚園から頂いた笹で素敵に笹飾りができました。



7月25日には、そうめん流しをしました。
21日のダンディタイムで作っていただいた竹を使用し、大盛り上がりとなりました。
手や箸を使いながら「早い!」「取れたよ!」と楽しみながら夢中になってそうめんを食べ進めていましたよ。当日、暑い中お手伝いして下さった保護者の皆様ありがとうございました。



☆お願い☆

・8月13日(月)～18日(土)は、夏期保育となります。
家庭保育の協力をお願い致します。お仕事がお休みの方は暑い夏、子どもたちとゆっくりお過ごし下さい。



《8月の予定》

3日(木) 絵画
5日(日) 西宮市民間保育協会就職フェア
7日(火) 子育て支援 救急セミナー
24日(金) 絵画
29日(水) 誕生日会

・体操・・・2・9・23・30日(木)

《9月の予定》

12日(水)～敬老週間
詳細は後日おたよりを配布いたします。
21日 クラルテによる人形劇の観劇
29日 ダンディ・タイムによる園庭整備
(後日お知らせします)